



第 163 号 令和 2 年 6 月 1 日

伊豆歩俱樂部会報

♪伊豆歩の歌♪ 詠み人知らず

歩歩歩（ふふふ）の歩（ふ）
緩歩で観歩
歩歩歩（ほほほ）の歩（ほ）
歩歩笑美（ほほえみ）伊豆歩は
歓歩で完歩

■第 213 回 伊豆歩俱樂部 7 月例会

夏の風物詩「ユウスゲ」ウオーキング

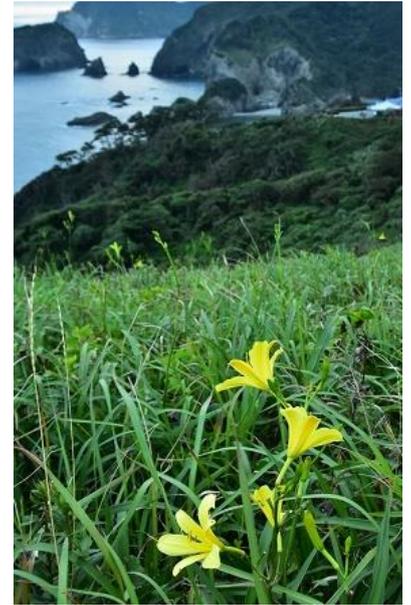
8Km

令和 2 年度事業計画では、7 月例会は「初夏の八丁池
ウオーキング」でしたが、今年の台風により通行止め
となっています。復旧工事が行われていますがまだ通
行できませんので、コースを変更しました。

奥石廊の池野原には、開花は 6 月下旬から始まり 8 月中旬で終わる。夕方頃（3 時～5 時）より黄色い花が咲き、翌日の午前中（9 時まで）にはしばむユウスゲが、海岸から山にかけての草原に群生している。

ユウスゲは、国立公園特別地区（富士箱根伊豆国立公園）の指定植物として全国的にも貴重なものであり、自然環境に恵まれた奥石廊で、可憐に咲くユウスゲを観賞する。

海からも、陸からも、超絶景の石廊崎を廻るコースです。石廊崎港駐車場で出発式をして、遊覧船で石廊崎岬めぐり（25 分）をする。石廊崎港から遊歩道を登り石廊崎オーシャンパーク休憩棟からガイド付きでしか行けない絶景スポット日和山、猪鼻を廻る。石廊崎灯台、石室神社と進み、石廊崎オーシャンパーク休憩棟で昼食とする。県道 16 号線を進みユウスゲ公園展望広場でユウスゲを観賞する。“海からも、陸からも、超絶景の石廊崎を歩く”



【開催年月日】 令和 2 年 7 月 12 日（日）

【集合場所】 石廊崎港駐車場

【集合時間】 9 時 45 分

【交通機関】 東海バス 伊豆急下田駅発 9：00→石廊崎港口下車 9：40→徒歩 5 分
料金 910 円

【参加費】 会員 無料 一般参加者 500 円

遊覧船料金 1,400 円

【出港・出発式】 出港 10:00 (25 分間)、 出発式 10:40、 スタート 11:00

【コース】 8Km

・石廊崎港➡石廊崎オーシャンパーク休憩棟➡日和山➡猪鼻➡石廊崎灯台➡石室神社➡石廊崎オーシャンパーク休憩棟 (昼食) ➡県道 16 号線➡ユウスゲ公園展望台➡あいあい岬 (ゴール予定 16 時 30 分)

【問合せ】 伊豆歩倶楽部事務局 (笹本)

TEL・FAX 0558-22-5465 携帯電話 090-2140-1717

【その他】 感染予防のため

マスク着用と熱中症対策も併せてお願いします。

※ 新型コロナウイルス感染状況により、変更になる場合もあります。

先の見えない話

伊豆歩倶楽部会員 NO618 清水政悦

何時迄に何をどうして、作らなくてはいけないとか、そんな制約された時代を過ぎた。今の人生はまったく自由で、締切や束縛の無い生活である。人様に頼まれる物は何一つ無く、気儘に過ごしている。他人から見ると、寂しい人生に入った廢物的な存在だと、見られる人もいるだろう。だが何一つ寂しさは無い。自由の中での生活は、自分で計画を立てて、急ぐこともなく進めている。

然し今予想もしていなかった。新型コロナウイルスが猛威を振り、令和 2 年を襲って来た。世界は元より我が日本は、緊急事態宣言の下で、誰もが不自由な生活を送っている。特に高齢者の感染率拡大が早く、日頃の健康管理を厳密に重視して、自らが自分の命は自分で守る、備えを求められている。高齢者は「自分が感染したら他人に迷惑を及ぼす」を思って、3 密を守り自粛をしている。



そしてテレビや新聞等によると、このコロナ禍で街中は静まっていると、報じられている。先日 5 月 5 日稲取の会社員は、北の空から「竜神」のような姿の雲が、空いっぱいに見えたのを見て、コロナの終息を願い、吉兆の知らせかと感動し、手を合わせたといっている。是非とも「吉兆の雲」であってほしい。

5 月に入ると伊豆半島の下小野では、連休前から田植えが始まった。同時に伊東市池でも、今年は 9 月上旬には台風の影響を受けずに、自分の米を食べたいと、ゲンコツ山(矢筈山)に手を会わせて祈ったと、田植えの終わったことを話していた。昔から天地に祈願をし、海や山を見てその時の状況を判断し、事を起こすことの繰り返す歴史が続いてきたのであろう。気象予報士の松本梓さんの話によると、北アルプスの白馬岳や長野市の飯縄山、小蓮華岳などは、2 月に入ると、雪形が農業に関係したものが多く、例えば作業する人の姿、馬、牛、鋤、鎌、家紋など、特に有名なのは、「種まき爺さん」「代かき馬」などが 2 月から 4 月中頃までには、多く現われて地元の方々に、その時期を知らせているらしいと、報じている。そして登山家で有名な深田久弥氏は、白馬岳(2,933m)の残雪の消えた一角に、田植えにかかる前の、苗代搔をする頃に、馬の形が見え初めたので、苗代馬の意味で、代馬(しろうま)と呼んだのが後になって白馬となったと書かれている。この代馬雪形は主峰より右寄の、小蓮華岳の右肩の残雪に出る。

しかし登山者が賑わう 7 月頃には、雪もとけて、馬の形は分からなくなってしまう。ついでに深田久弥氏の白馬岳初登頂は、大正 12 年(1923 年)の 7 月だったとある。私も昭和 40 年(1965 年)9 月に、ケーブルで登ったことがある。今は老齢のため、山には登れなくなったが、北アルプスの近くから雪形を眺め、温泉にでもつかりたいと思っている。扱て、自分の締切のない人生の話や、新型コロナ禍によって、雲や山に終息を祈る話と先の見えない話ばかり綴ってきたが、もう一つ先の見えない話をしよう。下田市上大沢の小倉橋より北に、100m 程行った崖の上に鶏糞肥料のビニールの、空袋をかぶったタケノコが出現したそうだ。5 月 5 日過ぎには地上約 6.0m 以上も伸びているらしい。この話題のタケノコを見て、近所の 70 代のおばあちゃんは、「コロナ騒ぎで先行きが訳らないから、変な名前がつけられちゃった。」と笑っていたらしい。さてこのへんで、「先の見えない話」は終了いたします。

文中参考 読売新聞、伊豆新聞、日本百名山

伊豆歩俳壇

九十九折シヨートカットの蝶の道

徳田尚志

けもの道石楠花揺るるぬた場かな

徳田尚志

輝けどやがて錆行く躑躅かな

徳田尚志

あじさいの階段登るフレンドリー

清水政悦

カーナビに煮き道もあり雨後の筍

清水政悦



ホームページアドレス <http://www.izuhorclub.com>

・メールアドレス info@izuhorclub.com

・投稿記事その他ご意見・ご感想をお寄せ下さい。「伊豆歩俳壇」にも一句・・・
皆様のご参加をお待ちしています。

※会報への投稿は、毎月20日までお願い致します。それ以降に届いた原稿は次号にてご案内させていただきます。

・伊豆歩倶楽部広報 飯作 勝台

〒410-3611 静岡県賀茂郡松崎町松崎85-2 TEL:0558-42-0864

携 帯:090-7675-8682

・ 発行者 〒415-0038 静岡県下田市大賀茂301

『伊豆歩倶楽部事務局』笹本 社長

TEL & FAX 0558-22-5465

■令和2年度 伊豆歩倶楽部新規会員募集中！！

伊豆歩倶楽部に入会して伊豆の自然を満喫しながら楽しくウォーキング！仲間と歩くと心も軽く笑顔もあふれます。

多くの皆様の新規ご入会をお待ち申し上げます。お気軽にお問い合わせください。

日本ウォーキング協会の入会及び継続（正会員・維持会員）をご希望の方も伊豆歩倶楽部会員手続きに合わせて
手続きを行いますので、その旨をお知らせください。退会予定の方も事務局または役員までご連絡をお願いします。

詳しくは伊豆歩倶楽部事務局 笹本【0558-22-5465】までお気軽にお問い合わせください。

〈令和2年4月1日～令和3年3月31日〉

【会費】 継続会員 3,000円/年 家族会員 1,500円/年

新規会員 4,000円（入会金 1,000円 年会費 3,000円/年）

日本ウォーキング協会 正会員 10,000円/年 維持会員 2,000円/年

【納入方法】 郵便振替用紙にて「記号10150通帳番号57680821 伊豆歩倶楽部」宛に納入して下さい。

※例会等へ現金をご持参の方は、封筒にお名前・入金額をご記入の上、伊豆歩倶楽部の受付へお渡し下さい。

